

第2章 積丹町の産業

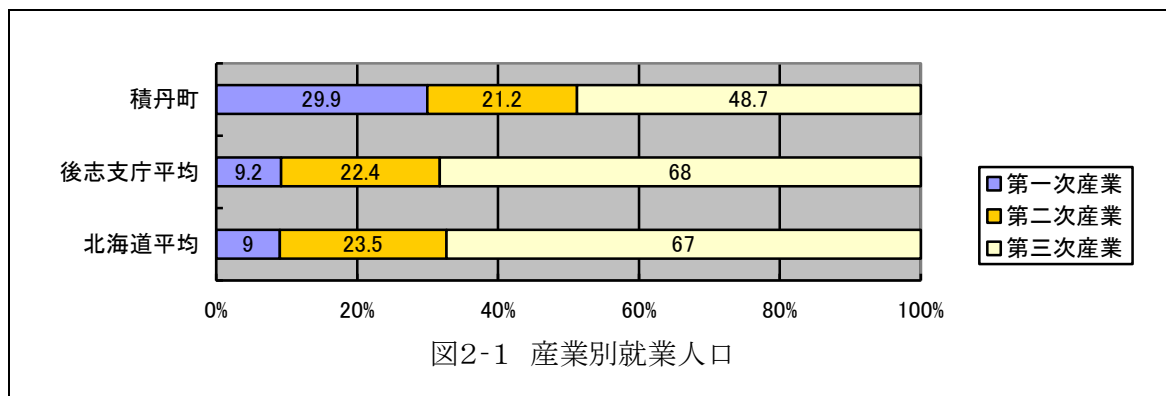
合使 大介

2.1 産業の概要

2.1.1 就業人口

積丹町の産業別就業人口をみると、第一次産業就業者 495 人、第二次産業就業者 352 人、第三次産業就業者 806 人。割合にすると、順に、29.9%、21.2%、48.7%となっている（産業別就業人口は、総務省統計局「平成 12 年国勢調査」による）。

なお、積丹町の産業構成比率としては、第一次産業・第二次産業就業者数は、減少傾向にあり、第三次産業就業者数が若干の増加傾向にある。



わがマチ・わがムラHP・国土交通省北海道開発局小樽開発建設部HPより筆者作成
(産業別就業人口は全て総務省統計局「平成 12 年国勢調査」による)

また、北海道平均と比べると、北海道平均が第一次産業から順に、9.0%、23.5%、67.0%であることから、積丹町は、圧倒的に第一次産業の就業率が高いことがわかる。これは、積丹町の基幹産業が第一次産業であることを如実に物語っている。なお、積丹町の属する後志支庁の平均が北海道平均と大きく違わないが、これは小樽市など規模の大きな市町に依るところが大きく、後志支庁全体的では、積丹町は異例ではない。

2.2 農業

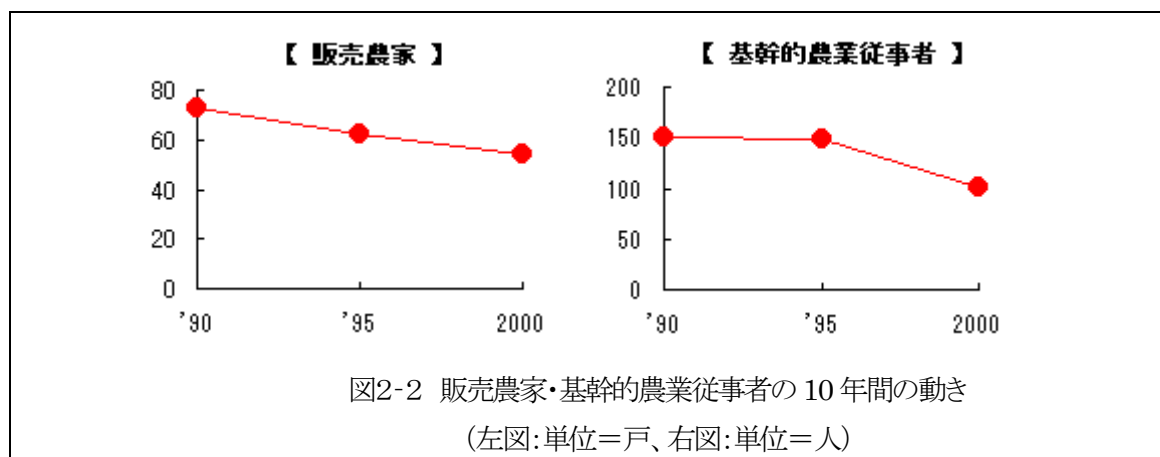
2.2.1 概要

積丹町の農業は、畜産と畑作の経営が主。畜産関係は、乳用牛と肉用牛の専業農家であり、畑作では、家畜糞尿をふんだんに利用して、かぼちゃ・グリーンアスパラ・ジャガイモの生産が行われている。

2.2.2 農家数・農家人口

平成 17 年現在の農家数は 97 戸で、うち、自給的農家は 39 戸、販売農家は 58 戸。また、専兼業分類を見ると、専業農家数は 25 戸、第 1 種兼業農家数 15 戸、第 2 種兼業農家数は 14 戸となっている。さらに、農業従事者数は 135 人で、うち、65 歳未満は 81 人、65 歳以上は 54 人。

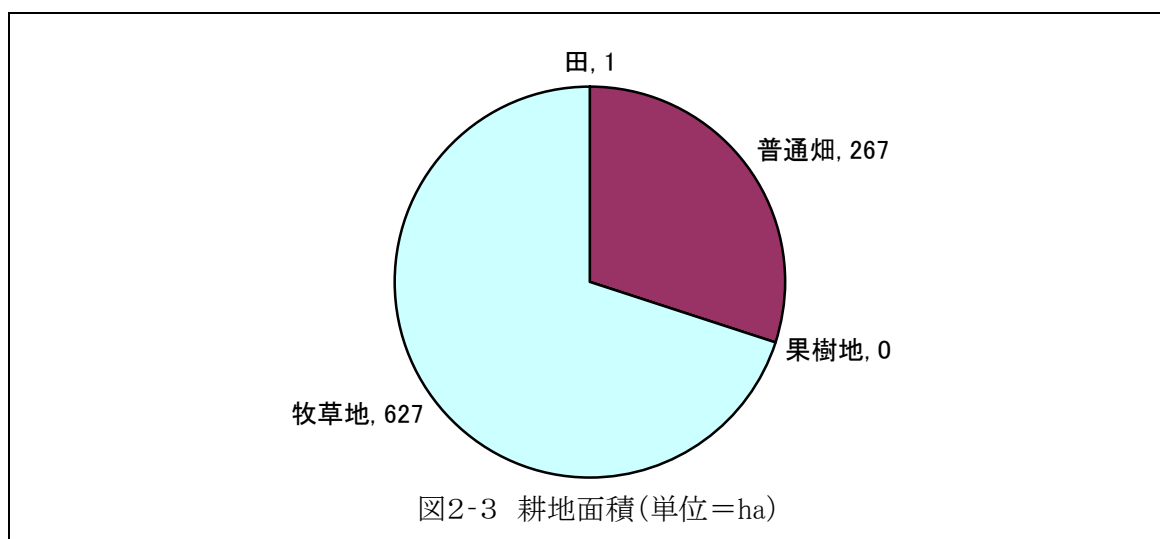
近年、農家数、農業従事者数ともに減少傾向にある。また、以下の二つの表より、自給的農家の減少が著しいことが伺える。これは、本業として農業を営んでいる農家は比較的安定しているが、兼業として行っているような農家は整理されている、ということが考えられる。



出展：わがマチ・わがムラHP

2.2.3 耕地面積

平成 16 年現在、積丹町の耕地面積は、895ha。その利用に関しては、田 1 ha、畑 894ha で、うち、普通畑 267ha、果樹地 0ha、牧草地 627ha。



わがマチ・わがムラHPより筆者作成

2.2.4 農業産出額と収穫量

平成 16 年現在の積丹町の主な農作物の収穫量は、以下の通り。ジャガイモ 852t、かぼちゃ 620t、トマト 62t、大根 35t、ねぎ 14t。

また、畜産に関しては、乳用牛が 12 戸で 710 頭、肉用牛が 10 戸で 980 頭。

農業産出額をみると、平成 16 年の合計は、64 千万円。主な内訳は、耕種 19 千万円（いも類 4 千万円、野菜 14 千万円）、畜産 45 千万円（乳用牛 28 千万円）となっている。

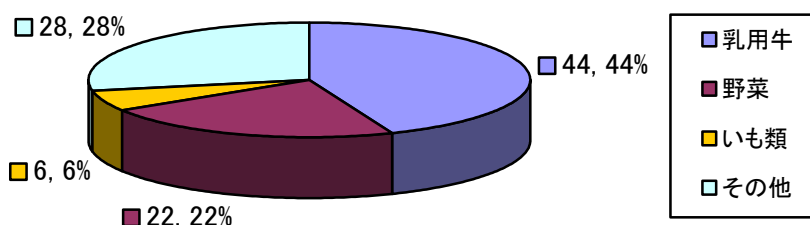


図2-4 農業産出額(単位:%)

出展：わがマチ・わがムラHP

図 2-3、2-4 より、積丹町の農業としては、普通農作物よりも、畜産において成果が上がっていることが伺える。

2.3 商工業

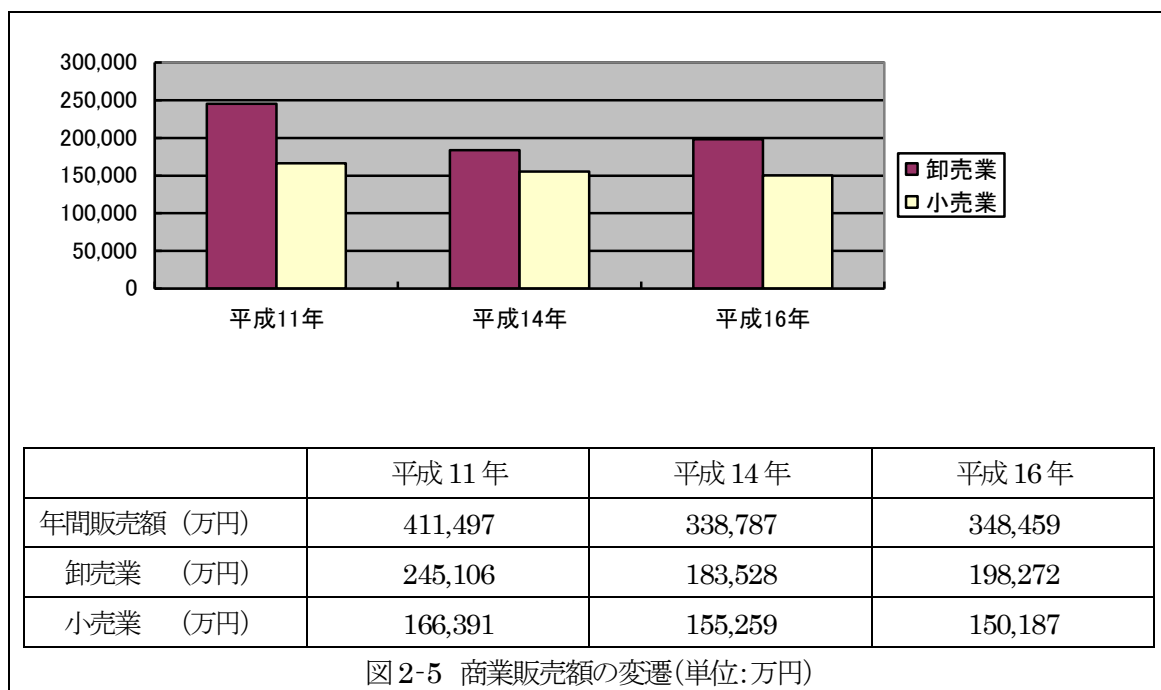
2.3.1 工業

積丹町の工業は決して活発とはいえない。平成 17 年現在、積丹町にある事業所数は 4、従業員者数は 28 人、製造品出荷額等は 1 億 9,269 万円。これは、後志管内では、公表されているなかでは最低の数字である。

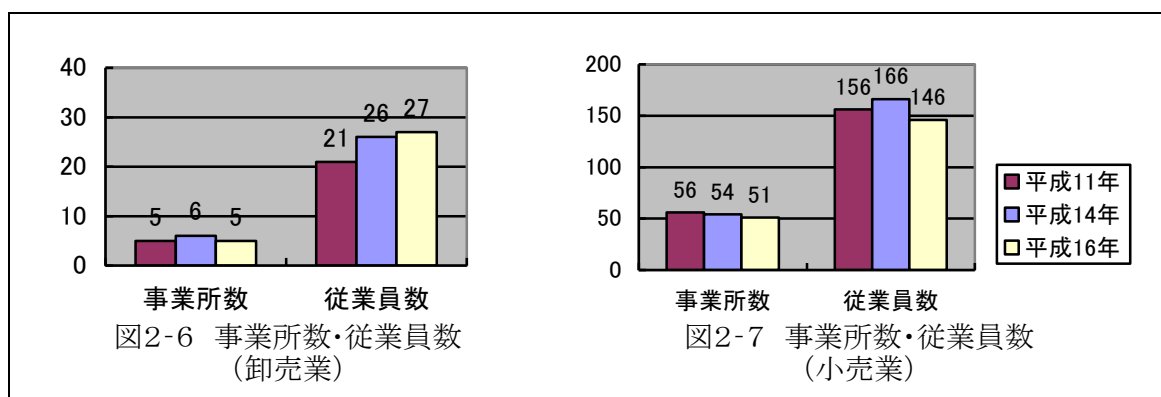
また、製造品出荷額等の全てが、食料品製造業によるものである。これが町内の水産物や農作物の加工による製造業であると考えられることから、第一次産業によって第二次産業が成立している、といえる。ここからも、第一次産業が同町の基幹産業であるということがいえるのである。

2.3.2 商業

積丹町の商業事業所数は 56、従業者数は 173 人、年間販売額は 34 億 8,459 万円で、その内訳は、卸売業 19 億 8,272 万円、小売業 15 億 0,187 万円（平成 16 年商業統計調査による）。



後志支庁商業統計調査をもとに筆者作成



後志支庁商業統計調査をもとに筆者作成

平成 14 年の年間販売額の著しい減少は、同年の卸売業の低迷に因るところが大きい。しかし、平成 16 年には年間販売額、卸売業販売額ともに増加していること（図 2-5 より）、事業所数・従業員数ともにおおきな減少のないこと（図 2-6、2-7 より）から、同町の商業が急激に衰退していくことが予想されることはないといつてよい。

2.4 林業

2.4.1 林野面積

積丹町の面積が 238.17 km²であるのに対し、林野面積は 18,759ha（＝187.59 km²）。林野率は 78%にのぼり、国有林 12,210ha、民有林 6,549ha（うち私有林 4,810ha）である。

2.4.2 林家

林家数は合計98戸あり、そのうち農家林家数が37戸である。しかし、76%もの林家が保有山林面積5ha未満の小規模林家である。また、林業就業人口も減少傾向にある。

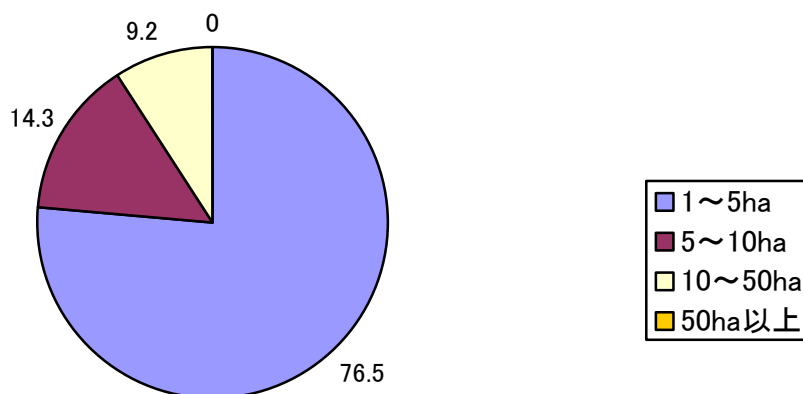
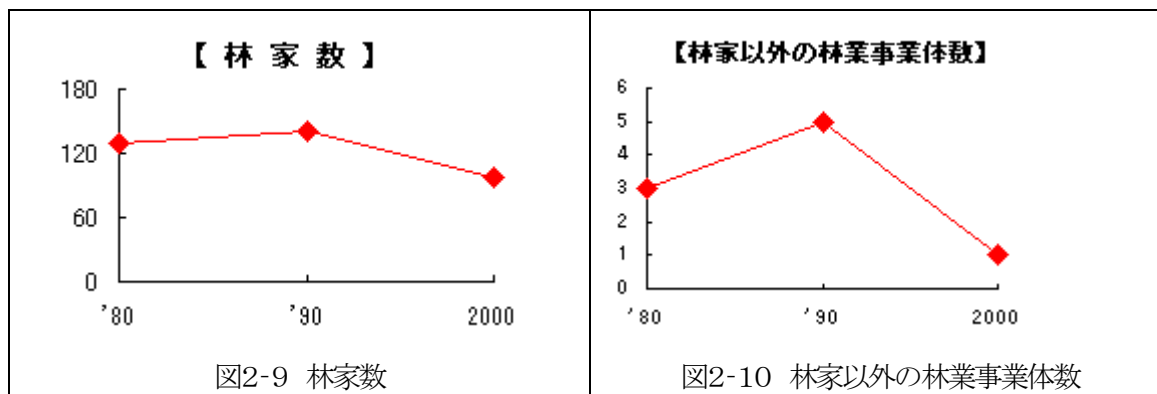


図2-8 林家保有面積(単位:%)

わがマチ・わがムラHPより一部改変



出展：わがマチ・わがムラHP

林家数・林業事業体数ともに減少傾向にある。林業事業体数の減少は、数の整理という側面も持ちうるため、必ずしも衰退への装置となるわけでないが、林家数の減少が続けば、今後とも衰退していくことが予想されるところである。

参照HP

積丹観光 Web site : <http://www.kanko-shakotan.jp/index.html>

北海道後志支庁HP : <http://www.shiribeshi.pref.hokkaido.lg.jp/>

北海道庁HP : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/>

新おたる農業協同組合HP : <http://www.ja-sinotaru.jp/index.html>

国土交通省北海道開発局小樽開発建設部HP : http://www.ot.hkd.mlit.go.jp/d2/chi_gaiyo.html

わがマチ・わがムラ ―市町村の姿―HP : <http://www.toukei.maff.go.jp/shityoson/index.html>